

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月7日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0873900518 | | |
| 法人名 | 有限会社 万葉 | | |
| 事業所名 | グループホーム 山吹の里 | | |
| 所在地 | 茨城県石岡市月岡1582-22 (電話) 0299-36-5510 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年12月5日 | 評価確定日 | 平成21年4月7日 |

【情報提供票より】 (平成20年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成15年7月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 18 人 | 常勤 8人, 非常勤 10人, 常勤換算 | 10.4人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------------|--|--|
| 建物構造 | 木造造り | | |
| | 2階建ての～ 1階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 35,000 円 | その他の経費(月額) | 24,000 円 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | — |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1月当たり 30,000 円 | | |

(4) 利用者の概要(平成20年11月10日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|----------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 4 名 | 女性 13 名 |
| 要介護1 | 1 | 要介護2 | 8 |
| 要介護3 | 4 | 要介護4 | 1 |
| 要介護5 | 1 | 要支援2 | 2 |
| 年齢 | 平均 82.9 歳 | 最低 54 歳 | 最高 103 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------------------|
| 協力医療機関名 | 石岡第一病院. あだち歯科医院. 柏木医院. 寿星会石岡診療所 |
|---------|---------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者や職員は利用者が穏やかな人間関係と豊かな自然環境のなかで、安心して伸び伸びと生活が楽しめるよう支援している。
職員は利用者が張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や持っている力を活かした役割や楽しみを見出し支援している。
利用者の自由と尊厳のある暮らしを支えるとともに、症状の改善など自立に向けた支援をしている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の結果を全職員で話し合うとともに職員の異動の際はホーム便りで家族等に報告している。 職員はスキルアップを図るため研修に参加している。 現状に即した介護ができるよう介護計画を見直している。 終末期の対応マニュアルや災害対策マニュアルを作成している。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者や職員は外部評価や自己評価の意義・目的を理解し、サービスの質の向上に全職員で取り組んでいる。 外部評価の結果について改善シートを作成し、課題の改善に努めている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は市や地域包括支援センター職員、利用者の家族、民生委員、老人会の役員、地域の代表等が出席して2ヶ月に1回開催し、ホームの現状を報告するとともに会議で出た意見や課題を話し合い、サービスの質の向上に活かしている。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>重要事項説明書にホームの苦情相談受付窓口や第三者苦情申立機関を明記し、利用契約時に説明している。 玄関に意見箱や苦情受付ポストを設置している。 家族の面会時に意見や要望を把握できるように働きかけるとともに、家族から出た意見等を検討し改善に努めている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近所の人が野菜を携え、漬物やこんにゃく作り、郷土料理作りに訪れている。 ホーム行事にボランティアの踊りや演奏、シルバーリハビリ体操などの協力がある。 近隣の保育園児と交流するほか周辺の草刈りや清掃作業などの自治会活動に参加し、地域の人々と交流している。</p> |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 住み慣れた環境のなかで自分らしく生きたいとの利用者の願いに寄り添い支える支援を基本理念としている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は理念を話し合い、共有するとともに実践に努めている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近所の人々が野菜を携え、漬物やこんにやく作り、郷土料理作りに訪れている。 ホーム行事にボランティアの踊りや演奏、シルバーリハビリ体操などの協力がある。 近隣の保育園児と交流するほか周辺の草刈りや清掃作業などの自治会活動に参加し、地域の人々と交流している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者や職員は外部評価や自己評価の意義や目的を理解し、サービスの質の向上に全職員で取り組んでいる。 外部評価の結果について改善シートを作成し、課題の改善に努めている。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は市や地域包括支援センター職員、利用者の家族、民生委員、老人会の役員、地域の代表等が出席して2ヶ月に1回開催し、ホームの現状を報告するとともに会議で出た意見や課題を話し合い、サービスの質の向上に活かしている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の担当部署の協力を得て認知症サポーター養成講座を開催している。 市職員が利用開始後のライフサポートに来訪し連携を図るなどサービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者の暮らしぶりや職員の異動をホームたよりや電話で報告するとともに、たよりのひとことコーナーに担当スタッフがコメントを寄せている。 金銭管理報告を毎月家族に送付している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 重要事項説明書にホームの苦情相談受付窓口や第三者苦情申立機関を明記し、利用契約時に説明している。 玄関に意見箱や苦情受付ポストを設置している。 家族の面会時に意見や要望を把握できるよう働きかけるとともに、家族から出た意見等を検討し改善に努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 利用者との馴染みの関係を維持できるように異動や離職を最小限に抑えている。 職員が交代する場合は利用者に挨拶するとともに、ホーム便りで家族に報告している。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員一人ひとりのスキルアップを図るため段階に応じて外部研修を受講するとともに、独自の研修を計画し実施している。 介護関係資料を回覧し、知識の周知徹底を図っている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 小規模多機能型連絡協議会や市主催の研修、地域の同業者との懇談会などに参加し、他事業者との交流や活動を通じてサービスの質の向上に活かしている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用前に本人や家族等による見学や体験利用のほか、フラワーパーク等に出かけるなど、ホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう工夫している。 入院中の場合は職員が病院へ出向き、本人と十分に話し合い納得のうえ利用を開始している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握するとともに豊かな生活の知恵を教えてもらったり、園芸や農作物の収穫を楽しんだり、明治・大正・昭和を過ごした話など、共に学び支え合う関係を築いている。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は利用者の思いや意向を把握するため声かけを行い、日々の会話のなかから利用者の希望する生活ができるよう係わり合いを大切に支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者や家族等の意向を第一に考え、関係者と職員で話し合い介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者の心身の状態や状況に変化があった場合は必要な関係者と話し合い状態に即した介護計画に見直している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者や家族の状況に応じてターミナルケアや通院介助、利用者の外泊送迎など柔軟に支援している。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者や家族の希望でかかりつけ医を決定している。 協力医による定期的な往診が週1回と看護師2名による週1回の見守りがあり、適切な医療が受けられるよう支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期に関する対応マニュアルを作成し、全職員で方針を共有している。 家族の同意書を作成している。 過去にターミナルケアの経験がる。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者のプライバシーに配慮した言葉かけや支援をしている。 面会簿を廃止し、面会者ごとに記入する書式にして職員がその都度受け取りファイルするなどプライバシーを損ねない工夫をしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりの体調に配慮するとともに、その日その時の利用者の気持ちを尊重し自由に過ごせるよう支援している。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者が耕作している野菜を収穫し、漬物や梅干作りなどを行い食生活を楽しんでいる。 利用者の能力を活かし、職員と共に食器類の後片づけをしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は毎日可能で時間や回数を利用者の希望に合わせて支援している。 利用者が満足できるよう入浴剤や入浴温度を調整し福祉用具も活用して支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 季節行事への参加や洗濯物たたみ、自家菜園での野菜作り、食後の片づけ、得意な習字や絵を描くなど利用者一人ひとりが自発的に役割を担い、気分転換を図れるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候や利用者の気分、希望にそって散歩や日光浴など外気に触れるよう支援している。 車での買い物、ドライブでポケットファームどきどきやフラワーパークを訪ねるなど利用者が外出できるよう配慮している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関や居室に鍵をかけないケアに取り組んでいる。 職員は常に見守り、気配りにより自由な行動を支援している。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回消防署の指導のもと防災訓練を実施するとともに、災害の備えとして飲料水や食糧等を備蓄している。 非常時の対応マニュアルを作成している。 地域の人々の協力体制もできている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者の食事や水分の摂取量をチェック表で把握するとともに職員で共有している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間には利用者が落ち葉を利用して製作した壁画を飾ったり、陽光の強い窓側にあさがおのカーテンを植栽するなど、季節感を取り入れ居心地のよい空間づくりに工夫している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は利用者が使い慣れた家具や思い出の写真、日用品等を配置して心地よく過ごせるよう配慮している。 位牌や仏具を置いている利用者もいる。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。